

こども園研修会を進めています。

令和4年度は、職員研修のアドバイザーとして、大阪総合保育大学の瀧川光治先生に一年を通して来ていただきます。

道明寺こども園での保育、子ども達の活動をもとに職員の研修を行い、保育者としてのスキルアップをめざしていきます。

4月20日、第1回目の研修を行いました。

《テーマ：子どもの遊び理解は、どのような視点から??》

どんなことにトキメキながら遊んでいるのだろう?



遊びながらどんなヒラメキが生まれてくるのだろう?



遊びながら、どんな気づき・発見が生まれるだろう? (=新たな経験知)



瀧川先生より

体験を通して、気づいたこと、わかったこと、できるようになったことが「学び」になる

子どもが一番心を動かし、考えているのは、その遊びに夢中になっている時です。保育者は、その子とその遊びの中で、何にトキメキを感じているのか、また、遊ぶ中で、どんなことをひらめき、気づき、発見しているのか、一人一人の姿から深く読み取っていくことが大切です。もちろん、そこには安心できる保育者の受け止めが欠かせません。これから大切なのは、子どもが自分でハンドルを握って主人公になれる保育です。



職員一同、力を合わせて素敵な園を創っていきます!!

【今、道明寺こども園では・・・】

第2保育所の5歳児そら組と、道明寺幼稚園5歳児にし組の子どもたちが、一緒によもぎ摘みに行きました。でかけるまでも、相談したり、教え合ったり、子ども同士が気持ちや考えを伝えあう関わりを大切にしています。また、職員間でも、こども園のカリキュラムの作成などを進めているところです。

